

# 茨城県・坂東市 避難力強化訓練を実施



マイ・タイムライン作成講座（小山上農村集落センター）



DWAT(災害派遣福祉チーム)による相談窓口



段ボールの間仕切りとベッドで感染症対策とプライバシーを確保



避難者の体温計測



保健師が体調不良者の症状を把握



避難所設営

10月31日、迅速・的確な避難行動の普及啓発や避難所での感染症対策の確認などを目的に、茨城県と共同で「利根川の洪水からの避難」を想定した訓練を実施しました。

七重小会場では、感染症対応の避難所開設・運営の訓練を実施。市の避難所開設担当の職員が受付担当と避難者に分かれ、新

しい生活様式での防災・避難対策について、県職員、DWAT(災害派遣福祉チーム)から指導をいただきながら実施しました。

また、小山上農村集落センターでは、中川地区防災・防犯協議会を対象に、マイ・タイムライン(個別防災行動計画)作成講座を実施。さらに特別養護老人ホーム延寿館(長須)にご協力いただき、要配慮者利用施設の水害からの避難訓練も実施しました。

市の防災訓練は、毎年地域のみなさんにご協力をいただいていたのですが、今回の訓練は、コロナ禍のため規模を縮小し、市民参加型での避難訓練は見送りました。そのため、利根川の浸水想定区域である、長須地区や中川地区の方には、事前にマイ・タイムライン作成講座を受講していただくなど、水害からの避難啓発に取り組んでいます。

市の防災訓練は、毎年地域のみなさんにご協力をいただいていたのですが、今回の訓練は、コロナ禍のため規模を縮小し、市民参加型での避難訓練は見送りました。そのため、利根川の浸水想定区域である、長須地区や中川地区の方には、事前にマイ・タイムライン作成講座を受講していただくなど、水害からの避難啓発に取り組んでいます。